

2学期教育懇談会校長挨拶



上中中学校の教育諸活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、学校では一番長い期間の2学期が終わろうとしています。9月初旬は熱中症の心配をしなければなりませんでした。今やインフルエンザや雪の心配です。幸い上中中学校では大きな事件や事故もなく生徒たちは安定した学校生活を送ってくれています。また、上中祭や合唱コンクールなどの行事を通して集団生活をする上で大切な能力を身につけてくれています。現在、3年生は進路実現に向かって努力を重ねていますし、1、2年生は3年生を手本として生徒会活動や部活動の中心として活躍してくれています。

それでは、学校評価アンケート結果をもとにかいつまんでお話をさせていただきます。

授業がわかると答えた生徒は、あてはまる、どちらかといえばあてはまる合わせて84.4%となっています。これは国語、社会、数学、理科、英語の5教科です。授業は楽しいは、92%で音楽や体育などの技能教科です。当然、学年が進むにつれて学習内容は難しくなりますので当初よりも%は落ちます。しかしながら現在も我々が立てた数値目標を上回ってくれています。なんとか最後までこの結果を維持できるように生徒のやる気を育て、授業研究を重ねていきたいと考えています。

次に家庭学習についてお話しします。家庭学習への取組は生徒も保護者も78%の肯定的な評価をしています。以前の学校便りでもお知らせしましたが、今年から宿題の量の上限を決めました。教科ごとに任せると、ある日は非常に多くなったり、また逆に少なくなったりします。多い日だと夜中までかかってしまい11時には就寝するようにと学校が指導していることと矛盾してしまいます。11時までに就寝している生徒は60%です。原因は宿題の量だけではないと思いますが、真面目な生徒ほど宿題の量に悩まされることもあります。そのため、各教科間で上限を決めて11時の就寝時間までには終わる量にしています。また、それぞれ人によって能力は違うので余裕のある生徒には自主学習をするように指導しています。これは11月から始めたことなので教師、生徒ともにしっかりとその趣旨が浸透しているのか、また効果があるのかを今後検証していく必要があります。3学期には振り返りを行い、次年度につなげていきたいと考えています。

学校に来るのが楽しいと答える生徒、保護者はどちらも約85%でした。目標値を90%にしていますが実際は100%を目指さなければなりません。楽しいと感じていない生徒についてはしっかりと理由を把握して担任が中心とはなりますが職員全体で共有して不安や悩みの解消に努めていきます。最後はスマホなどの通信機器の使用状況です。使用禁止にすることはもはや困難な時代です。しかし、スマホ依存症、睡眠障害、いじめ、ながらスマホ、ゲームによる課金など様々な弊害が出ています。学校ではいろんな場面をとらえて指導をしていますが、ご家庭でもスマホや通信機器の功罪についてお子さんと話し合っていたいただきたいと思います。それでは家族おそろいでよいお年をお迎えください。

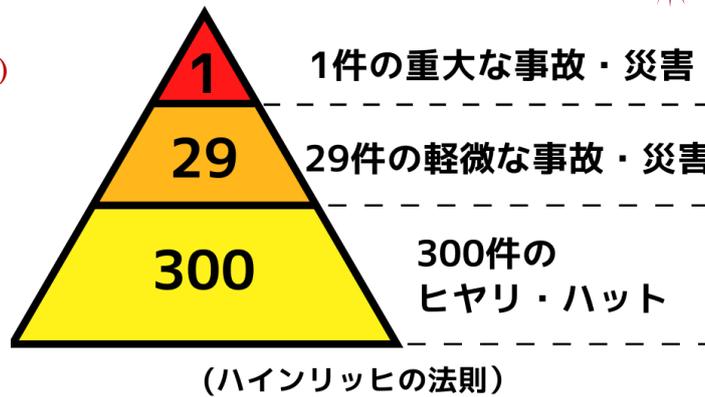
裏面もご覧ください

人権集会でこんな話をしました



2017/12/6(WED)

皆さんは「〇〇の法則」というのを今まで聞いたり授業で習ったりしたことがあるでしょう。今日は、「**ハインリッヒの法則**」というのを紹介します。



これは1930年代、アメリカの保険会社に勤めるハインリッヒという人が工場での事故の発生確率を調査したもので、「1 : 29 : 300の法則」ともいわれています。1件の重傷事故の背景には、29件の軽傷の事故と、300件の傷害にいたらない事故（ニアミス）があるということです。またさらにその背景には、数千、数万の危険な行為が潜んでいたといえます。つまり、重大な事故の背景には必ず数多くの前触れや発生する理由があるということです。

このことは学校生活でもあてはまることでしょう。学校での一番の重大事故は生徒が命を落とすことです。みなさんも知っているように県内の中学校で痛ましい事件がありました。また、国内ではいじめにより自ら命を絶ったというニュースも見聞きたことがあるでしょう。このような重大な事件や事故の裏には数多くの軽微なヒヤリ・ハットが潜んでいると考えられます。楽しく普通に学校生活を送っている生徒がいきなり自死することは考えられません。いろんな悩みやストレスが積み積もって耐えきれなくなって死を選ぶのです。

ではどうすれば防げるのか。それは軽微な事故や事件の芽を摘んでいくことです。つまりハインリッヒの言う300のヒヤリとした事象をなくすことです。担任の先生からあなたの人権感覚チェックというプリントをもらいましたか？その中に「班になる時にわざと机を離すようなことはしない」という項目がありました。どうでしょう？わずか5センチの**スキマ**、たいしたことのないように思う人も多いと思いますがその5センチが7センチ、10センチと広がる可能性があるのです。重大ないじめというのはちょっとしたからかいがエスカレートし、周囲の無関心がそれに拍車をかけるのです。現在、人権週間ということでいろんな取り組みをしていると思いますがこの機会に自分の人権感覚を見つめ直し、いじめがなく、悲しい事故や事件が入り込む**スキマ**のない上中中学校にしていきましょう。



Topics

改修工事が進み、徐々に新しい教室の姿が見えはじめました。来年1月末には引っ越しの予定です。不便をかけますがもう少しです。

